

伊勢崎警察署協議会議事録
(令和5年度第3回定例会議)

開催日時		令和5年12月13日(水) 定例会議 午後3時から午後5時までの間	
開催場所		伊勢崎警察署大会議室	
出席者	委員 (定数15人)	森田会長 吉田委員 岩崎委員 田野辺委員 根立委員 入澤委員 星野委員 齋藤委員 新井委員 都丸委員 上村委員	計11人
	警察	齊田署長 石川副署長 飯塚警務官 小堀会計官 大澤刑事生活安全官 市川交通官 小堀会計官 横山警務課長 松嶋留置管理課長 武井生活安全課長 吉田地域課長 大河原刑事第二課長	計11人
	その他		

議 事 の 概 要

1 挨拶

(1) 会長挨拶

本日は師走の中旬ということで、お忙しい方が多い中、定刻にお集まりいただき感謝申し上げます。今回はあらかじめ諮問・意見をいただいているので、それを中心に進行していきたい。

(2) 署長挨拶

皆様方は第1回の協議会から御出席されており、警察署協議会の設立の意味等は御承知のことと思うが、平成11年ころから全国の警察、特に関東近辺で不祥事が続発したことで、平成12年に民間の有識者からなる会議を開き、警察刷新に関する緊急提言がなされた。それを受け、警察署協議会というものを全国の警察に設け、住民、あるいは管内に勤務する有識者の方の民意を警察行政運営に反映させることとなった。しかし、依然として不祥事が続き、犯罪の発生状況も極めて厳しい状況が続いており、引き続き皆様方からの御意見を真摯に受け止め、警察行政に反映させていきたいと考えているので、どうか忌憚のない御意見をいただきたい。

2 議事

(1) 管内概況説明（署長、刑事生活安全官、交通官説明）

- ア 治安情勢概況
- イ 刑法犯認知・検挙状況
- ウ 特殊詐欺認知・検挙状況
- エ 少年犯罪検挙状況
- オ ストーカー・配偶者からの暴力事案対応状況
- カ 児童虐待事案対応状況

- キ 暴力団犯罪検挙状況
- ク 来日外国人犯罪検挙状況
- ケ 110番通報受理状況
- コ 警察安全相談受理状況
- サ 交通人身事故発生状況

(2) 諮問 (○～委員、●～警察)

ア 犯罪防止方策について

(ア) 犯罪抑止のための防犯意識高揚方策について

- パトカーの巡回を犯罪発生の頻度に合わせて増やしていただきたい。[意見]
- パトカーの現場から現場への移動時等であっても赤色灯を付けるよう指導しており、パトロール要望については効果的な時間、順路を決めて無駄のないようパトロールを実施している。今後も、独居高齢者等が被害対象となりうるような住民の不安が大きいパトロール要望については、パトロールカードを投函し、実施結果を知らせていきたい。[回答]
- パトカーのサイレンの吹鳴音等により、パトカーの巡回頻度が高いことがわかると犯罪抑止に効果が高いと感じる。[意見]

(イ) 防犯カメラ等の設置促進方策について

- プライバシーの問題等に配慮しつつ、年間の予算に応じて可能な限り設置していただきたい。[意見]
- 防犯カメラは犯罪抑止に効果的であるが、費用や性能、設置場所の選定に悩むところであるため、警察署からのアドバイスを広報したり、家電量販店と協力し、体制を確立していけば防犯カメラ設置促進に繋がるのではないか。[意見]
- コンビニ等だけでなく、公園等に防犯カメラの設置を推進していただき、また、設置箇所の表示があると安心に繋がる。[意見]
- 防犯カメラを確認する必要性がある際に、故障等で録画がされていない状態では意味がない。[意見]
- 他県警が実施した防犯カメラに関するアンケート結果によると、「治安をよくするために防犯カメラは有効である」「犯罪解決に役立つ」「犯罪を未然に防ぐ効果がある」「安心感が得られる」「防犯意識が高まる」との意見が大多数となっていた。県内各所で防犯カメラの映像から被疑者検挙に繋がった事例があり、行政だけでなく警察からも様々な団体に働きかけ、連携して設置を推進していきたい。防犯灯と防犯カメラがセットになったものも有効であると認識している。[回答]

(ウ) 高齢者を対象とした特殊詐欺や強盗等の防止方策について

- 空き家対象の被害防止を含め、高齢者、特に独居高齢者の被害防止には家族のサポートが必要であることを広報していただきたい。[意見]

(エ) 子供や女性を犯罪被害から守る方策について

- 「子ども協力安全の家」事業に協力しているが、今まで児童等の立ち寄りはない。子供安全マップを作成し、学校で配布するなど学校内で周知していただきたい。[意見]
- SNSを介して発生する犯罪の防止方策として、インターネット上でのパトロールを強化し、時間的・空間的な防犯対策を推進し、極力、児童が犯罪に巻き込まれないような体制を確立していただきたい。[意見]
- インターネット上のパトロールについては、子供・女性安全対策課及びサイバーセンターと連携し、SNSを介した犯罪に児童が巻き込まれないよう警戒を強めていきたい。[回答]

- 安心安全パトロールカーの運用の促進、警察官の巡回連絡をより多く実施していただきたい。[意見]
- 郵便局員等の防犯意識を高め、配達バイクの荷台等に防犯運動実施中と掲げる等、連携して対応してはどうか。[意見]
- 赤堀地区等に街灯の設置が少なく、夜間は非常に暗いため防犯カメラだけでなく街灯の設置を推進していただきたい。[意見]
- 群馬県立女子大学周辺は店舗や街灯が少なく、夜間は女性だけで歩くには不安が大きいと感じる。所属しているサークルでも青色回転灯を付けた車両による大学周辺の防犯パトロールを行っており、地域と連携して犯罪抑止に繋げていきたい。[意見]

(オ) 自転車盗防止対策について

- 「敷地内でも鍵を施錠する。自転車置場以外に駐輪しない。無断駐輪、放置などしない」ことなどを広報していただきたい。[意見]
- 自転車盗は6割以上が無施錠状態での被害であり、確実に施錠させることは被害防止に有効である。警察活動として、無施錠の自転車のハンドル部分に紙のタグを付け、確実に施錠するよう促している。[回答]
- 夜間の盗難が多いのであれば、センサーライト付きの防犯カメラの設置を推進していただきたい。[意見]

(3) 協議・質疑 (○～委員、●～警察)

- 勤務地、居住地共に街灯が少なく夜間は暗く不便であるが、街灯や防犯カメラの設置基準はあるのか。[質問]
- 警察の予算で設置する防犯灯・防犯カメラはなく、自治体で賄っていただくか、防犯協会、地区の商工会、商店街の予算で設置しているところが多い。伊勢崎市についても同様であり、設置場所に関する要望を警察として回答している。玉村町についても行政で積極的に設置を推進していただいているところであるが、予算の都合もあり、行政と警察で連携して設置場所を広げていきたい。[回答]
- 四ツ葉学園近くの十字路で登校時間帯に警察官が立ってくれていることがある。生徒の自転車の乗り方等について学校からも指導しているが、警察から指導していただくと生徒の意識もより変わらと思う。自転車の乗り方のルールを守らないと赤切符をもらうこともあり、講習を受けなければならない場合もあるということを生徒に指導している。正しい乗り方をしても事故等に遭い怪我をしてしまうことも多いので、今後も自転車の乗り方について指導を推進していきたい。[意見]
- 年に4回行われている交通安全運動期間については特に体制を強化して街頭活動を実施している。また、毎月15日は自転車マナーアップデーとして学校と連携して、ヘルメットの着用、自転車の交通ルールの周知徹底を図っている。自転車の運転手に対する指導警告を推進しており、悪質・危険な自転車の違反者に対しては指導にとどまらず赤切符により検挙して取締りを行っている。[回答]
- 伊勢崎警察署の代表電話が頻繁に混雑しており、繋がりがづらい。相談をしたくても長い時間待たされると相談がしづらいのではないかと。上州くん安全安心メールのようにメールでの発信活動は推進していただいているが、受信する方に力を入れてもらえると住民の安心に繋がるのではないかと。メール等で気軽に相談できる窓口を設けることはできないか。[質問]
- 伊勢崎署の電話回線は4回線あり、日中は電話交換手1名が電話を受け、担当部署につないでいる。夜間、土日休日は当直員で対応しているが、回線本数は変わらないため、5番目以降の電話については話し中の状態となる。現在、電話回線の本数の増設を警察本部に要請しており、今後も継続していく。メール相談の導入については、

セキュリティの観点上、県下の警察署で一般に公開しているメールアドレスを持つ署はない。現状、メールアドレスを設定し、不特定多数の方とメールでやりとりすることはできない。事件・事故等の緊急性がある場合は積極的に110番通報をしていただきたい。110番通報では、電話だけでなく、聴覚障害のある方や言語障害のある方でも通報可能なシステムが導入されており、ぜひ広めていただきたい。また、群馬県警察のホームページ上に、相談・要望・苦情等の入力フォームがあり、後日担当者から電話回答されるシステムもあるため活用していただきたい。[回答]

- 電話回線の増設を検討するとのことであったが、伊勢崎警察署に電話した際、話中にならず呼び出し音が鳴っている状態のままということが多い。警察に電話をするというのは勇気のいることであるが、電話をかけても出ないのであれば相談したくても諦めてしまうのではないか。電話交換手1名での対応とのことであるが、当番制にする等の対策をしないと繋がらない結果は変わらないのではないか。また、メールはサーバーへの攻撃の観点から導入が難しいとのことであるが、このIT社会で攻撃を理由に導入しないのはどうかと思う。遅れていた裁判手続きですらIT化が進んでいるので、サーバーを分ける等、何か方策があるのではないか。[質問]
- 代表電話がコールのままとのことであるが、以前にも協力団体の方など複数から同様の意見をいただいている。また、伊勢崎署では月に500件以上の相談電話をいただいている。その中で私としても3年前に音声ガイダンスの導入を提案し、現在、警察本部では導入されている。近い将来、警察署でも導入されていくと思われる。今後導入を目指し働きかけを継続していく。電話回線の増設についても合わせて継続して要望を上げていく。インターネット環境については、刑事手続きについてもIT化が進んでおり、令和8年からは令状請求等の刑事手続きについてもIT化が開始されることが決定しており、裁判所、検察庁、警察でサーバーをつなぎ実施される。そういった世の中であるため、今後も各所への働きかけを行い、IT化の実現を目指していく。警察安全相談・苦情・要望についてはホームページで相談フォームに相談内容を入力することができるため、周知していく。しかし、リアルタイムでの回答を行うことは出来ず、回答は後刻になってしまい、またメール回答ができず電話のみであるため、相談者の都合によっては電話を受けることができない状態であり、色々な改善点がある状況である。今回、貴重な御意見をいただき、そういった御意見を実現できるよう尽力していく。[回答]
- テレビ等の報道で、宝石店での強盗事件やあおり運転等の録画映像が公開されていることが多々ある。防犯カメラやドライブレコーダーの設置が普及している中で、なぜ犯罪者は犯行を犯してしまうのか。手口等は報道でわかるが、犯人の心理状況を知りたい。それによって一般人としての新たな抑止・防犯対策を講じることができるのではないか。[質問]
- 報道等で防犯カメラ等の様々な映像が公開されていることから、先の事が判断できる者であればリスクが大きく割に合わないことは容易に想像できる。個別の事件についてはコメントしかねるが、多くの映像が流れている事件については実行犯が若年者であったりして、不本意な形で犯罪に巻き込まれているケースも多い。割に合わない犯罪であると分かっているにもかかわらず、個人情報等を知られて脅され、半強制的に犯行を行わされている者も相当数いる。また、組織的な犯罪以外であっても、人間は金に困る等の切羽詰まった状態であると、正常な判断ができなくなる場合もあり、犯行に及ぶケースもある。自治体で設置していただいている防犯カメラ以外のコンビニ、個人商店、商業施設等の店舗に設置された防犯カメラを犯罪捜査に生かしていくことが多く、非常に重要である。また、車両設置のドライブレコーダーも同様であるが早期に回収しないと上書きされてしまうため、捜査でいかに早く回収できるかにかかっている。

そういった面でも、警察は日頃から一般の方に御協力いただけるような広報啓発活動を強化していく必要があると考えている。[回答]

3 備考

- (1) 令和5年度警察署協議会会長会議については、令和6年2月14日（水）にWeb会議方式で開催する。
- (2) 次回の定例会議については、次の日程での開催で調整することとした。
令和6年2月20日（火）午後3時から